

《Mari Kita – Dancing with Sound, Drawing with Steps (マリ・キタ – 音と踊り、歩みで描く)》(2025) 作曲: ウン・チョー・グワン

大まかな流れ

- 1) 演奏者は、中央に集合。1から10までの数字を、自分の好きな言語で、好きな速さで、繰り返し数えながら、公園の端まで広がりましょう。
- 2) 端までたどりついたら、数を数え続けながら、スマートフォンで音を流す準備をします。Stravaアプリを持っている方は、動きの記録を開始してください。
- 3) 自転車チームが中央に登場し、右のリズムをベルまたはアングルンで演奏しながら、時計回りに回ります。



- 4) スマートフォンで何かの音を流してください。音楽でも、録音でも、アラームでも、何でもOKです。数を数える声は徐々にフェードアウトします。
- 5) 自転車チームが全員入場したら、演奏者は反時計回りに回ります。
- 6) 自転車チームが4周し退場したら、演奏者は足を止め、近くで指示されるフリップに従って演奏します。楽器や声、手拍子など、表現は自由です。色々な記号や図形が出てくるので、自分なりに「これを音にするとどんな音になるかな」と想像しながら挑戦してみてください。

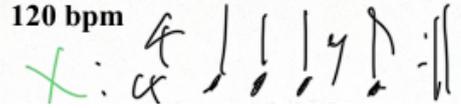
※この後は、公募演奏者の方々だけのパフォーマンスです。

- 7) 演奏者は、磁場に引かれるように、会場の中心に引き寄せられます。次第に音と動きの密度も高くなっていきます。
- 8) それぞれのタイミングで静止し、静寂の時間が訪れます。自分の、そして会場の外側へと耳を傾けましょう。
- 9) 「1」と「0」に分かれて、互いに共鳴しながら、少しずつ振動を始めます。
 - 1(前後運動)
 - 音程のある楽器はD音を、音程のない楽器はトレモロ(細かく刻む音)を演奏してください。
 - 前後に動き、前に動いたら音を大きく、後ろに動いたら音を小さくしてください。
 - 0(円運動)
 - 音程のある楽器はA音を、音程のない楽器はトレモロ(細かく刻む音)を演奏してください。

- 円を描くように動き、隣の音に向かって重力に引っ張られるように音を曲げ、また基準の音に戻ります。

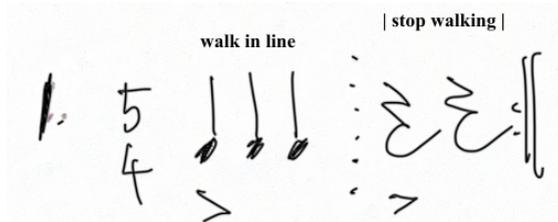
10) 動きを大きくしながら会場中に広がっていき、それぞれの「居場所」を見つけます。

11) 真ん中にガムラン奏者があられ、右のパルスを演奏します。

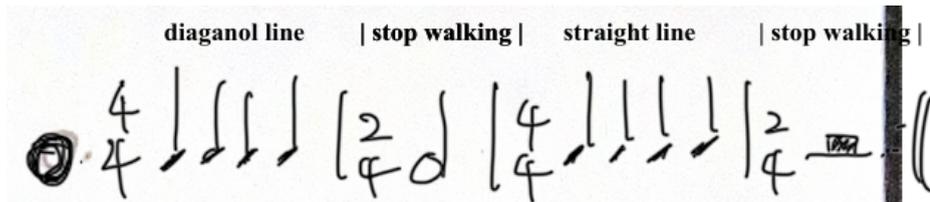


12) 「1」と「0」は、パルスに合わせて以下のように動きながら演奏し、空間に線を描きます。

- 1: 真っ直ぐ歩く(3拍) → 止まる(2拍)の繰り返し



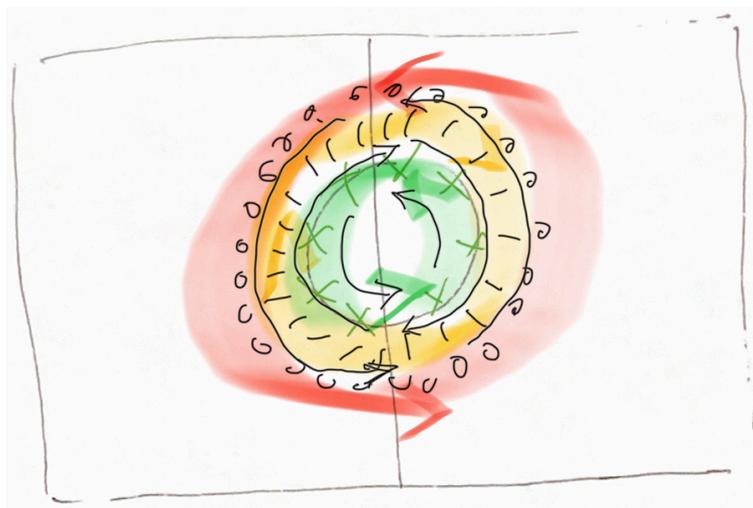
- 0: 斜めに進む(4拍) → 止まる(2拍) → まっすぐ進む(4拍) → 止まる(2拍)の繰り返し



13) 同じ番号の人を見つけて、あとをつけていきます。

14) 「1」と「0」はそれぞれに1本の線になっていき、会場を大きく回ります。

- 「1」はガムランの外側を時計回りに回ります。
- 「0」は「1」の外側を反時計回りに回ります。



15) 徐々にゆっくりになります。最後の音を響かせて、静寂の中で、空間そのものを感じましょう。